

建た人間の 築め間の のの

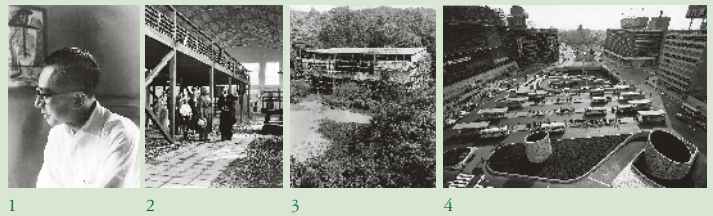
une
architecture
pour l'homme

建築資料にみる坂倉準三 Junzo Sakakura in Architectural Documents

日本の建築の多くが、この半世紀、木造から鉄筋コンクリート、鉄骨造に変わり、私たちの生活空間はモダンムーブメントの潮流の上につくられてきた。そのデザインの源流を創ったのが、巨匠・ル・コルビュジェ[1887-1965]であり、パリで彼に師事し、その後、日本国内に多くの作品を手がけた建築家が坂倉準三[1901-1969]である。

坂倉準三は、東京帝国大学で美術史を学び渡仏し、ル・コルビュジェのアトリエで5年間働いた後、1937年にパリ万国博覧会日本館[Exposition internationale des Arts et Techniques dans la vie moderne, Expo 1937]で建築界に華々しくデビューする。帰国後は、大戦からの復興期の1951年に世界的に知られる鎌倉の神奈川県立近代美術館を生み出した。本展では、同館のデザインへいたる足跡とその後の広範囲にわたる多様な作品群について、原図や当時の写真、建築資料によって紹介し、デザインの中心に人間を据える坂倉準三の考え方とその大胆な発想と調和の感覚へ迫る。さらに、坂倉作品が社会に与えた影響と建築の文化の豊かさについて、シンポジウム等を開催し検証する。

- 表：建設中の神奈川県立近代美術館 | 1951
1: 坂倉準三ポートレート
2: レオナルド・ダ・ヴィンチ展 | 1942
3: 建設中の神奈川県立近代美術館 | 1951
4: 新宿西口広場 | 1961-66 | ©新建築社
—
特記以外=坂倉建築研究所蔵



第一部 | パリ万国博覧会日本館 [1937]

——ル・コルビュジェ、シャルロット・ペリアンとの出会い

ル・コルビュジェのアトリエでは、シャルロット・ペリアンら多くの建築家・デザイナーと交流し、その体験を背景として、建築部門グランプリ賞を受賞したパリ万国博覧会「日本館」[1937]のデザインが生み出された。日本初公開となるフランス国立公文書館所蔵の日本館の原図を中心に展示する。

第二部 | 戦前から戦後復興期の作品

——パリから持ち帰ったモダンムーブメント

帰国後、いくつかの都市や建築の計画案に携わり、40歳で住宅作品の原点、「飯簀邸」が竣工する。またシャルロット・ペリアンの招聘と「選択・伝統・創造」展開催に尽力し、日本館の動線を想起させるレオナルド・ダ・ヴィンチ展を手掛ける。「高島屋和歌山支店」「東京日仏学院」等、戦前から戦後の作品を展示する。

第三部 | 神奈川県立近代美術館 [1951]

——人間のためのデザインと技術的挑戦

1950年、鎌倉の神奈川県立近代美術館の指名競技設計において実施案の採用が決定し、50歳を迎えた年に竣工する。日本館に通じる周囲と調和した軽快な空間は、海外へも紹介されて世界的に知られることになる。師であるル・コルビュジェも来日時に訪れた神奈川県立近代美術館を、原図・写真・模型等の建築資料で紹介する。

第四部 | 日本の都市風景となった作品群

——家具から都市まで その多様なデザインの展開

東京都心の渋谷・新宿、大阪の難波をはじめ各地につくられた都市施設や企業の建築群、庁舎、構築物、そして住宅から家具まで、その作品は日本人の記憶の一部となってきたが、都市と同化しつつ姿を消した建築も多い。日本の建築や都市に与えた影響を示し、デザインの中心に人間を据える坂倉準三の全体像に迫る。

メインシンポジウム+見学会 | Symposium + Museum Tour 坂倉準三と神奈川県立近代美術館

| 日時 | 2013年12月14日[土] 15:00-17:30
| 会場 | 鎌倉商工会議所[鎌倉市御成町17-29]

高階秀爾[大原美術館 館長]
阪田誠造[建築家]
水沢勉[神奈川県立近代美術館 館長] 他

シンポジウムは定員150名で当日先着順となります。なお、このシンポジウムに先立ち13時より神奈川県立近代美術館(鎌倉館)の見学会を実施します。この見学会は事前申込制です。[定員30名]

ギャラリートーク+シンポジウム | Gallery Talk + Symposium 坂倉準三と建築資料

| 日時 | 2014年1月11日[土] 14:00-16:30
| 会場 | 国立近現代建築資料館

笹境暁[金沢工業大学 教授]
松隈洋[京都市芸繊維大学 教授]
山名善之[国立近現代建築資料館] 他

シンポジウムは定員40名で当日先着順となります。坂倉建築研究所(坂倉準三建築研究所)関係者によるギャラリートークを13時より実施する予定です。詳細はホームページでご確認下さい。

ギャラリートーク | Gallery Talk

会期中の土曜日、坂倉建築研究所(坂倉準三建築研究所)関係者によるギャラリートークを実施します。詳細はホームページでご確認下さい。

シンポジウム | Symposium

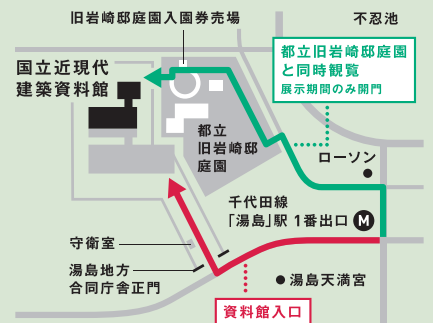
建築家坂倉準三

| 日時 | 2014年2月9日[日] 15:00-17:30
| 会場 | 鹿児島大学稲盛会館[鹿児島市郡元1-21]

萬代恭博[建築家/坂倉建築研究所]
北村紀史[建築家/元坂倉建築研究所]
山名善之[国立近現代建築資料館] 他
当日先着順となります。[定員270名]

問い合わせ・見学会申込先——

鹿児島大学工学部建築学科調査研究チーム
[担当: 鯉坂/増留/富木/中武]
s-info@adl.ae.kagoshima-u.ac.jp



文化庁

国立近現代建築資料館

National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs

〒113-8553 東京都文京区湯島4-6-15
National Archives of Modern Architecture,
Agency for Cultural Affairs
4-6-15 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8553, Japan

Tel. 03-3812-3401 | Mail. nama@bunka.go.jp
http://www.bunka.go.jp/bijutsukan_hakubutsukan/
shiryokan/index.html



パリ万国博覧会日本館 | 1937 | 外観透視図 | document conservé aux Archives nationales, Paris (F12 12557)